

## 令和2年度 第1回鳥栖市障害者福祉計画及び鳥栖市障害福祉計画等策定委員会 議事録

開催日時：令和2年8月24日 13:30～

会 場：鳥栖市役所2階第2会議室

出席委員：田代会長、小椎尾副会長、鬼塚委員、中山委員、井上委員、牧崎委員、大隈委員、新貝委員、高取委員、江見委員、芹田委員、鈴木委員、有馬委員、鳥飼委員、園田委員、小石委員

欠席委員：村山委員

### ■次第

1 開会

2 あいさつ

3 委嘱状交付

4 会長・副会長の選出

小石委員より、会長を田代委員、副会長を小椎尾委員にお願いしてはどうかという提案あり。異議なし。満場一致で会長に田代委員、副会長に小椎尾委員を選出。

5 議題

1) 鳥栖市障害者福祉計画及び鳥栖市障害福祉計画等の策定について

- ・計画策定の趣旨
- ・計画の位置づけ
- ・計画の期間
- ・計画の策定体制

2) 第5期鳥栖市障害者福祉計画策定の方向性について

- ・国の計画との整合性
- ・第4期鳥栖市障害者福祉計画の取組状況

3) 第6期鳥栖市障害福祉計画等策定について

- ・国の基本指針

6 第5期鳥栖市障害者福祉計画及び第6期鳥栖市障害福祉計画等の策定スケジュール（案）について

7 その他

8 閉会

## ■議事概要

### 1) 鳥栖市障害者福祉計画及び鳥栖市障害福祉計画等の策定について (事務局より資料に基づき説明)

#### ○会長

事務局の説明について、何か意見、質問があればお願いします。

#### ○委員

一つだけ確認ですが、冊子は2つで、障害児福祉計画がないのですが、これは障害福祉計画に含まれているという認識でいいのですか。

#### ○事務局

障害児福祉計画は、第5期障害福祉計画の19ページ以降に、一体化して策定していません。

#### ○委員

今回から計画期間が任意で6か年ということでしたが、ちょっと長いなと思います。計画自体の途中での見直しとか、中間評価とかは今までもされてきているのか、今回もするのかどうか教えてください。

#### ○事務局

今まで障害者福祉計画の計画期間は5年でしたが、途中での見直しは行っていません。今回は6年ということですが、ちょうど障害福祉計画が3年ごとの策定になりますので、そのタイミングで評価、見直しができると思っています。

#### ○会長

障害者福祉計画が5年、障害福祉計画が3年という、従来の計画期間のズレを、障害者福祉計画の期間を6年とすることで、解消しようという考えで、他の自治体も同じようにしているところが多いようです。

### 2) 第5期鳥栖市障害者福祉計画策定の方向性について

(事務局より資料に基づき説明)

#### ○会長

ありがとうございました。事務局の説明について、何かご意見があればお願いします。

#### ○委員

2点ほどお話をさせていただきます。

まず、レジュメの付いた資料のP6、国の計画との比較に関連して、第5期計画には、

国際化の視点をなにごしかの形で入れる必要があるのではないかと考えています。鳥栖市内にも日本語学校があって、市内で就職する外国ルーツの人も相当数いらっしゃることから、今後市内で結婚して家庭を持つ人も増えてくる可能性があります。2019年の毎日新聞の記事によれば、外国籍の子どもは、通常の2倍、特別支援学級在籍率があり、日本語ができないために知的障害と判定されている可能性もあるということです。今後、鳥栖市においても同じことが起こる可能性があるのではないかと考えていますので、障害者支援と外国籍の方に対する支援との連携について、貧困施策との連携など多分野連携の必要性と同じように、障害者福祉計画の素案の中に盛り込んでいただきたいと思います。

2点目はインクルーシブ教育に関連して、鳥栖市では通称「共に学び成長する子ども条例」が制定されていますが、インクルーシブ教育システムの構築の中で書かれていることは、早期に障害のある子どもを発見して個別に支援することが多いので、インクルーシブ教育に逆行するものではないかとも感じています。私はそれはそれで必要なことだと思っていますが、条例ができたことにより、本当にインクルーシブな状態で鳥栖市の中で過ごしていくために、すべての保護者に障害のある子どもについて理解してもらうための施策であったり、授業のユニバーサルデザインを進める取り組みであったり、本当にインクルーシブな教育、社会を実現するための取り組みを盛り込んでいただきたいと思います。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございます。今後の素案づくりの方で協議させていただきます。

○会長

ありがとうございました。

委員の国際協力社会の話もそうですが、今は非常に多文化の方が生活していらっしゃるのです、そういう方たちとの相互理解が、地域福祉を進める上で重要になってくると思います。

今日、朝日新聞の一面に特別支援学級の数が足りないというニュースが載っていました。これまでノーマライゼーションという考えの下、一緒に学ぶというのが普通だと思っていたのですが、今はむしろ特別支援学級を望む保護者が7割くらいと多くなっているようで、なかなか難しく、一概に言えないものだなと思いました。

3) 第6期鳥栖市障害福祉計画等策定について

(事務局より資料に基づき説明)

○会長

ありがとうございました。事務局の説明について、何かご意見はありますか。ある方はお願いします。

○委員

これは意見でも質問でもなく印象です。鳥栖市障害者福祉計画があって、障害福祉計画

があって障害児福祉計画があって、数だけで言っても非常にまどろっこしい、わかりにくい構成になっていると思います。将来的には一つでいいのではないか、できるだけわかりやすく切り分けられないかなと思いつながら説明を聞いていました。

○会長

本当におっしゃるとおりですね。本当は全部地域福祉計画にまとめてしまえばいいと思うのですが、それぞれ法律に規定があるのでなかなかそうはいかないということです。しかし、利用する側にとってはやはりできるだけシンプルな方がわかりやすいと思いますね。

4) 第5期鳥栖市障害者福祉計画及び第6期鳥栖市障害福祉計画等の策定スケジュール（案）について

（事務局より資料に基づき説明）

○会長

ありがとうございました。2回目、3回目で計画の内容を協議することになるということで、事前に資料も配布されると思いますので、それを読み込んできていただくことになるかと思います。スケジュールについて、何かご意見はありますか。